

Ⅱ 結果の詳細

1 教科に関する調査

(1) 小学校国語

① 全体的な結果

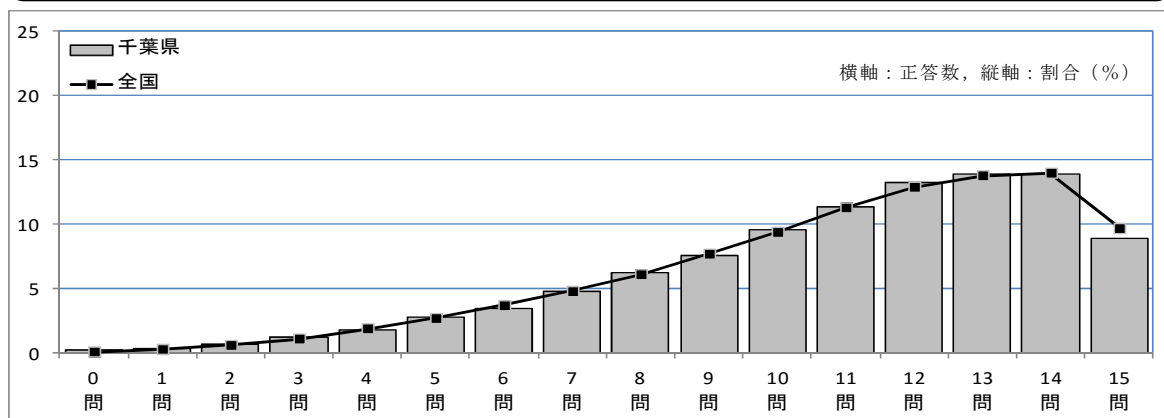
ア 正答数の分布

＊「A～D層」について

- ・各層は全国の児童を正答数の大きい順に整列させ、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っています。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称します。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合があります。
- ・千葉県の人数比率は、全国のA～D層を基準に示してあります。

【国語A】

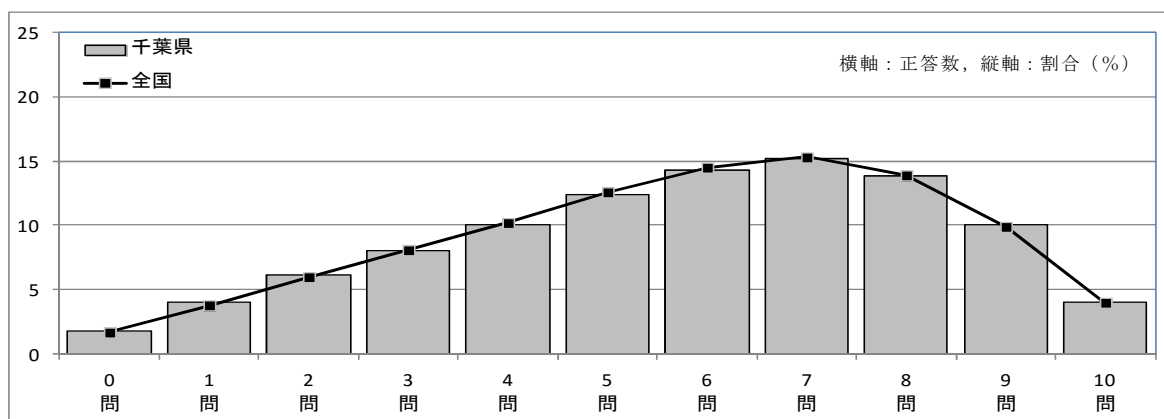
平均正答数、平均正答率ともに全国と同程度である。正答数の分布は、全国とほぼ同じである。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～8問	* C層 9～11問	* B層 12問	* A層 13～15問
全 国 (公立)	10.9問 ／15問	73 %	12.0	3.1	全 国 (公立)	21.3 %	28.4 %	12.9 %	37.5 %
千葉県 (公立)	10.9問 ／15問	73 %	11.0	3.1	千葉県 (公立)	21.5 %	28.6 %	13.3 %	36.7 %

【国語B】

平均正答数、平均正答率ともに全国と同程度である。正答数の分布は、全国とほぼ同じである。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～3問	* C層 4～5問	* B層 6～7問	* A層 8～10問
全 国 (公立)	5.8問 ／10問	58 %	6.0	2.4	全 国 (公立)	19.6 %	22.8 %	29.8 %	27.8 %
千葉県 (公立)	5.8問 ／10問	58 %	6.0	2.5	千葉県 (公立)	20.1 %	22.4 %	29.5 %	28.0 %

イ 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）

知識／活用

「知識」は、全国と同程度であるが、低下傾向である。「活用」は全国と同程度であり、昨年度よりも上昇した。

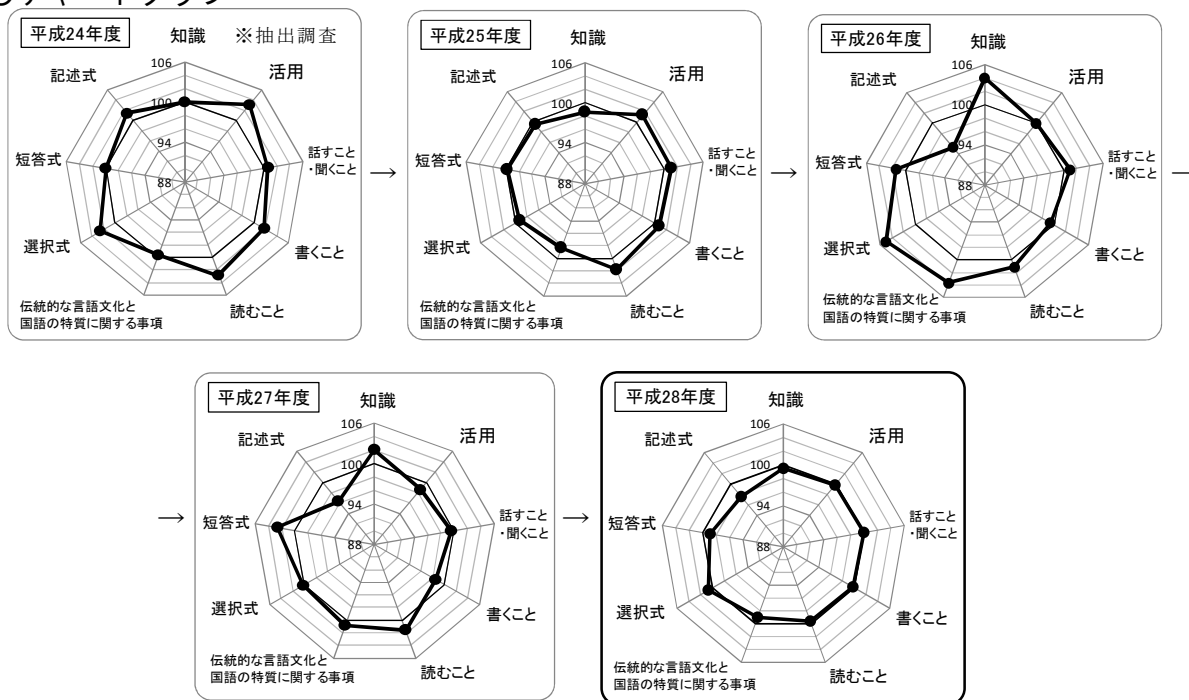
領域等

「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が低下傾向にあり、今年度はどちらも全国に達しなかった。

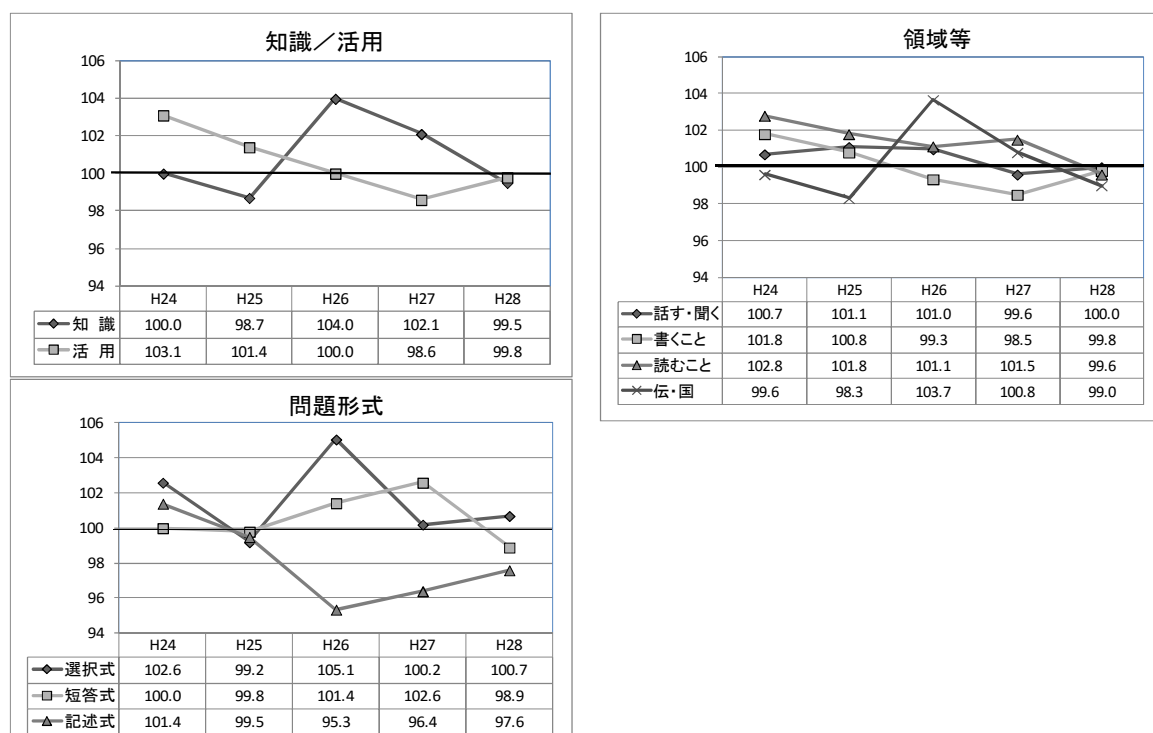
問題形式

昨年度課題として挙げられた「記述式」は、今年度も全国を下回ったが、上昇傾向にある。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

(凡例)

〔出題の趣旨〕

「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題

「同一」 過去の調査と同一の問題

〔領域等〕 学習指導要領の領域等

「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと

「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

〔評価の観点〕

「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力

「書」 書く能力 「読」 読む能力

「言」 言語についての知識・理解・技能

〔問題形式〕

「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式

〔肯定的回答〕

「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計

〔昨年との差〕

千葉県の今年度（平成28年度）と昨年度（平成27年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
■ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差3.0ポイント以上

▼：全国との差3.0ポイント以下

ア 各設問の結果

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率(%)			無解答率(%)			
							千葉県 (公立)	全国 との 差		千葉県 (公立)	全国 との 差		
A	1ー1	漢字を読む (今日は全国的に快晴だ)	学年別漢字配当表 に示されている漢 字を正しく読む		伝	言	短	80.0	0.7		5.2	0.0	
	1ー2	漢字を読む (お年玉を貯金する)			伝	言	短	98.2	-0.3		0.4	0.1	
	1ー3	漢字を読む (むだを省くようにする)			伝	言	短	81.4	0.4		5.8	0.8	
	1二1	漢字を書く (アサガオの <u>たね</u> をまく)	学年別漢字配当表 に示されている漢 字を正しく書く		伝	言	短	86.1	-1.4		5.5	1.0	
	1二2	漢字を書く (<u>した</u> しい友人と出かける)			伝	言	短	75.2	1.4		10.5	0.1	
	1二3	漢字を書く (先生に <u>そうだん</u> する)		同一	伝	言	短	61.4	-2.8		6.1	1.1	
				(H19)				57.2	-0.8		8.9	-1.2	
	2	全校集会で歌う歌を決めるた めに、どのように話し合っ ているのか、話し合いの説明と して適切なものを選択する	目的や意図に応じ て、収集した情報 を関係付けながら 話し合う		話	話	選	79.1	-0.1		0.3	0.1	
	3	ルール説明の表現について 助言した内容として適切な ものを選択する	書き手の表現の仕 方をよりよくする ために助言する		書	書	選	66.5	-0.9		0.3	0.1	
	4	委員会を紹介するパンフレッ トを作るため、追加の取材を した理由として適切なものを 選択する	目的や意図に応じ て、書く事柄を整 理する		書	書	選	80.6	2.4		0.4	0.1	
5	公園案内図とパンフレットに ある表とを関係付けて読み、 希望に合うものを選択する	目的に応じて、図 と表とを関係付け て読む		読	読	選	93.0	-0.1		0.3	0.0		

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率(%)			無解答率(%)		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
A	6	『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する	登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える	課題改善 (H20)	読	読	選	64.1	0.2	1.4	0.0	
								53.4	1.2	9.1	-0.6	
	7アイ	毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久)	用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める		伝	言	選	81.1	-0.1	0.9	0.0	
	8-1	ローマ字を書く(りんご)	平仮名で表記されたものをローマ字で書く	課題改善 (H21)	伝	言	短	51.3	-1.9	12.4	0.5	
								47.8	2.3	18.2	-1.0	
	8-2	ローマ字を書く(あさって)		課題改善 (H21)	伝	言	短	40.4	-1.4	15.1	1.4	
								53.8	1.9	28.2	-1.1	
	8-3	ローマ字を読む(hyaku)	ローマ字で表記されたものを正しく読む		伝	言	短	49.2	-1.5	21.4	1.4	
	1一	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する	目的に応じて、質問したいことを整理する		話	話	選	53.1	1.3	0.4	0.1	
	1二	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える		話	話	選	50.7	-0.4	0.6	0.1	
B	1三	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する		話・書	関・話・書	記	49.4	-1.0	8.7	0.9	
	2一	「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	グラフを基に、分かったことを的確に書く	課題改善 (H25)	書	書	選	43.5	0.1	1.4	0.2	
								25.7	-0.5	13.3	0.0	
	2二(1)	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く	課題改善 (H21)	書	関・書	記	50.1	-1.3	7.6	0.9	
								25.7	-0.5	13.3	0.0	
	2二(2)	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く		書	関・書	記	63.4	-0.8	8.7	1.0	
	2三	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える		書	書	選	60.4	2.1	4.7	0.5	
	3一	「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む		読	読	選	77.9	0.7	3.3	0.4	
	3二	「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する		読	読	選	77.7	-0.2	3.7	0.3	
	3三	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む		書・読	関・書・読	記	50.8	-2.1	13.0	1.5	

イ 質問紙調査の結果

質問 番号	国語に関する質問事項	肯定的回答		
		千 葉 県	全国との差	昨年との差
57	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	37.7	-1.6	-1.4
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	44.6	-0.4	0.6
59	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	68.9	0.6	2.9
61	国語の勉強は好きですか	61.9	3.6	-3.2
62	国語の勉強は大切だと思いますか	91.0	-0.3	-0.3
63	国語の授業の内容はよく分かりますか	81.0	0.3	-1.3
64	読書は好きですか	75.2	0.6	2.7
65	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.6	-0.6	0.7
66	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	67.3	0.3	2.1
67	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	62.2	-0.1	1.4
68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	72.8	-1.2	1.4
69	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	76.8	-1.3	1.1
70	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した【肯定的回答】 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった	73.5	-1.6	-2.7
82	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	86.0	0.8	1.9
83	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	71.7	0.1	5.2

○A問題で出題されたローマ字の書く、読むでは、正答率が3問すべて全国を下回り、無解答率においても3問全てが全国より高いという結果であった。ローマ字は第3学年の指導事項であるが、当該学年での学習にとどまらず、繰り返し読んだり書いたりすることができるようにする必要がある。その際、児童が必要性感じられるように、ローマ字表記が添えられた案内板やパンフレットなど、ローマ字が使われている日常の場面と結びつけながら指導することが大切である。

○B問題で出題された「記述式」では、昨年度よりは改善が見られるが、4問すべての設問で正答率が全国を下回り、無解答率が高い。記述式4問は質問紙の(68)(69)との関連が強く、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方などについて注意して読む指導の充実が望まれる。また、図表を基にした記述では、必要な数値、概略を示す言葉、比較を示す言葉など、読み取った情報を相手にわかりやすく伝えるための言葉を選択する指導も必要である。

③ 成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 活用（Ｂ問題）は昨年度と比較すると改善が見られ、今年度は、知識（Ａ問題）とともに全国と同程度であった。 ◇ 「国語の勉強が好き」な児童の割合が全国より高い状況が継続している。 ◇ 「記述式」の正答率が、昨年度と同様に全国平均を下回ったが、上昇傾向が見られる。
	課題	◆ ローマ字を書く、読むことは、３問全てにおいて全国を下回った。今回と同様の趣旨で出題された平成２１年度調査との比較においても課題として挙げられる。 ◆ 昨年度に引き続き、無解答率が全国より高い設問が多く、継続した課題として挙げられる。特に、正答率が全国平均と同程度であった活用（Ｂ問題）においても、全ての設問の無解答率が全国より高いという結果であった。

話すこと 聞くこと	◇ 目的に応じて、質問したいことを整理することが、全国を上回っている【Ｂ１一】。 ◆ 質問の意図を捉えながら聞くこと【Ｂ１二】が、全国を下回り、さらにそれを記述させる設問【Ｂ１三】になると、正答率がより低くなっている。
書くこと	◇ 目的や意図に応じて、書く事柄を整理することが、全国を上回っている【Ａ４】。 ◇ 活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えることが、全国を上回っている【Ｂ２三】。 ◆ 目的や意図に応じて、グラフや表を基に、内容を整理して自分の考えを書くことが、全国を下回っている【Ｂ２二(１)】【Ｂ２二(２)】。 ◆ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら書くことが、全国を下回っている【Ｂ３三】。
読むこと	◇ 登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることが、全国を上回っている【Ａ６】。 ◇ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことが、全国を上回っている【Ｂ３一】。 ◆ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことが、全国を下回っている【Ｂ３三】。
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	◇ 漢字を読むことが、全体的に全国を上回っている。 ・「快晴」【Ａ１一１】 ・「省く」【Ａ１一３】 ◆ ローマ字を書く、読むことが、全国を下回っている。 ・「りんご」【Ａ８一１】 ・「あさって」【Ａ８二２】 ・「hyaku」【Ａ８三３】
その他	◆ 書くことに対して抵抗感をもたず記述問題に取り組もうとする態度を身に付けていく必要がある。 ・書くことの領域では、「選択式」の設問においては全国平均を上回る設問が多く見られるが、「記述式」の設問は４問全てが全国平均を下回った【Ｂ１三、Ｂ２二(１)、Ｂ２二(２)、Ｂ３三】。また、無解答率も全て全国より高い。質問紙調査にも表れているように、記述することへの抵抗感が見られ、教科指導はもちろん、日常の活動として書くことを取り入れた指導が必要である。

④ 誤答分析 授業づくりシート 千葉県版【小学校国語】

本シートは、本県の【小学校国語】に見られる課題の改善を図る授業づくりのための資料として提示しています。各学校においては、これを参考にして、実態に合わせて**誤答分析ツール**を利用して「**誤答分析 授業づくりシート**」を作成し、指導改善を進めてください。

平成28年度全国学力・学習状況調査

誤答分析【国語B－授業づくりシート】②

H28

設問番号	設問の概要
国語B 3三	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く

出題の趣旨	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
学習指導要領における 領域・内容	【第5学年及び第6学年】 C 読むこと ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。 【第5学年及び第6学年】 B 書くこと ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

＜解答類型別反応率にみられる特徴とつまずきの分析＞

【誤答例①】

パンのかおりに包まれている時や、自分の思いどおりのパンが焼き上がった時などがうれしい。

→ 資料2から取り上げることができているが、谷口さんの特に心に残ったことの「お客さんが喜んでくれた時には」という部分を捉えることができていない。

【誤答例②】

自分がいっしょうけんめい作ったパンをお客さんに喜んでもらった時にこれからがんばろうと思う。

→ 谷口さんの特に心に残ったことが伝わるように書いているが、資料2を取り上げていない。

【課題】 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。

＜学習指導の改善方策＞

【目的に応じて、複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしながら読むことができるかどうか】

- 課題解決の過程となるような適切な言語活動を設定する。
- 適切な本や文章を選ぶことができるよう、情報検索の仕方や効果的な読み方などについて指導する。
- 読む目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのため引用したり要約したりする部分も変化するということを実感できるように指導する。

単元 「興味のある職業について調べ、リーフレットで紹介しよう」（8時間扱い）

〈第1次〉

① 教師による職業紹介や職業に関する新聞記事の紹介、学校図書館担当職員等によるブックトークを開き、職業について関心を持つ。

② 自分が選んだ職業について、調べたこととそこから考えたことをリーフレットにまとめ、紹介するための学習計画を立てる。

〈第2次〉

③④ 問題の資料1と資料2を読み、パン職人の仕事について調べ、特に心に残ったことを中心に自分の考えをまとめる。

⑤ パン職人の仕事について調べたこととそこから考えたことを必要に応じてペアやグループ、全体で交流する。

〈第3次〉

⑥⑦ 第2次の学習を生かし、自分が選んだ職業について、自分が探した本などから必要な情報を取捨選択したり、複数の情を関係付けたりして、調べたこととそこから考えたことをリーフレットにまとめる。

⑧ リーフレットを基に、学級で紹介し合い、互いに感想を伝え合う。

関連する問題	H26B2一 H26B2二 H26B2三
--------	----------------------------

授業アイデア例

課題の見られた問題の概要と結果

B③ 将来なりたい職業について調べ、紹介する
 〈職業「パン職人」〉
 B③三 正答率 **53.2%** 「パン職人」について、紹介したい内容を
 まとめて書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕C ウ

〔第5学年及び第6学年〕B ウ

第二次③/8 パン職人について書かれた本を選んで比べて読み、必要な情報を付箋紙にまとめる

本や文章を読む際は、自分にとって必要な情報の中心となる語に着目させ、目次や索引、見出しなどを手掛かりにしながら情報を検索できるように指導します。例えば、「仕事内容」→「どんな仕事」、「～になる方法」→「～になるには」→「～への道」など、別の言葉に置き換えて、必要な情報を探することができるようにします。

ポイント

第二次④/8 特に心に残ったことを中心に、付箋紙にまとめたことや本を読み返し、自分の考えをまとめる

谷口さん
 調べて分かった事柄：材料の分量や焼く温度などをその日の天気などに合わせて変える必要があり、同じ味に作ることが難しい。焼き立てのパンが店にならび、お客様のうれしそうな声が聞こえた時は、パン職人をやっていてよかったと実感する。
 考えたこと：パン職人は、毎日同じ味になるように作るむずかしさはあるけれど、焼き立てのパンが店にならび、お客さんに喜んでもらえた時にやりがいを感じることができる。仕事をする上で苦労はあるけれども、その分、喜びもたくさんあるということが分かった。

Aさん
 調べて分かった事柄：パンを焼くだけでなく、お店を清潔に保つことやお客様の好みを考えた新商品の開発などといった仕事もある。パン職人になる方法はたくさんあるけれど、学校を卒業してからパン屋さんやレストラン、製パン会社などで修行する人が多い。
 考えたこと：パン職人になるには、自分の思う通りのパンを焼くだけではなく、お客さんの立場に立って仕事をするのが大切だと思った。それから、パン職人になるためには、いろいろな方法があることが分かり、パン職人になる道は一つではないことに気付いた。

Bさん
 調べて分かった事柄：パン職人の〇〇さんは小さいころからいろいろなものを食べるのが大切だと思つと話していた。パンを焼くことやお店を清潔に保つこと、さらには新商品の開発などといった仕事もある。
 考えたこと：子どものころから、いろいろなものを食べることで味のちがいが分かるようになるのではないかな。それが新商品の開発につながるのだと思った。それを確かめるためには、別の本で調べたり、パン職人に聞いたりしたらよいと思う。

第二次⑤/8 資料の取捨選択の仕方やまとめ方などについて交流し、自分の選んだ仕事の紹介に生かす

ほか調べている電車の運転手も、お客さんのことを考えて仕事をしていると思うな。「乗客」という言葉に気を付けてもう一度読み直してみよう。



Bさんの調べていた「今から準備しておくこと」は参考にしたいな。電車の運転手の場合も、今から準備しておいた方がいいことがあるかどうか、別の本も調べてみよう。

第三次⑥⑦⑧/8 自分が選んだ仕事を紹介する内容についてまとめ、紹介する

参照▶「平成28年度 報告書 小学校 国語」P.70～P.78、「平成28年度 解説資料 小学校 国語」P.52～P.59

(2) 中学校国語

① 全体的な結果

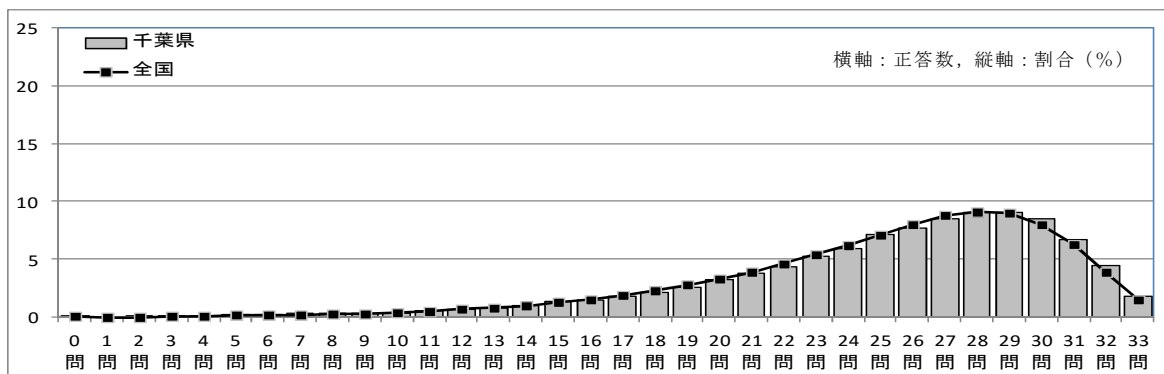
ア 正答数の分布

*「A～D層」について

- ・各層は全国の生徒を正答数の大きい順に整列させ、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っています。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称します。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合があります。
- ・千葉県の人数比率は、全国のA～D層を基準に示してあります。

【国語A】

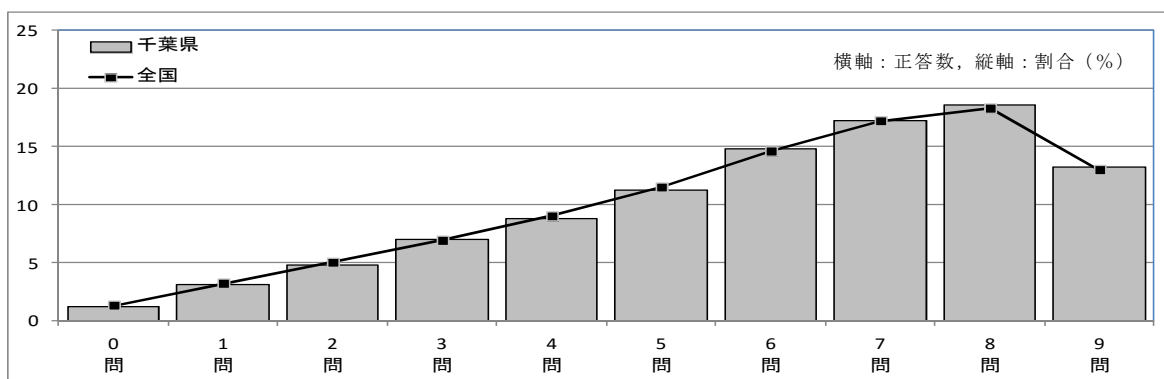
平均正答数、平均正答率ともに全国と同程度である。正答数の分布は、全国とほぼ同じであるが、A層の割合が高い。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～21問	* C層 22～25問	* B層 26～28問	* A層 29～33問
全 国 (公立)	25.0問 ／33問	76 %	26.0	5.4	全 国 (公立)	22.0 %	23.4 %	25.9 %	28.7 %
千葉県 (公立)	25.1問 ／33問	76 %	26.0	5.4	千葉県 (公立)	21.5 %	22.7 %	25.2 %	30.6 %

【国語B】

平均正答数、平均正答率ともに全国と同程度である。正答数の分布は、全国とほぼ同じである。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～3問	* C層 4～5問	* B層 6～7問	* A層 8～9問
全 国 (公立)	6.0問／ 9問	67 %	6.0	2.3	全 国 (公立)	16.4 %	20.6 %	31.8 %	31.3 %
千葉県 (公立)	6.0問／ 9問	67 %	6.0	2.3	千葉県 (公立)	16.1 %	20.1 %	32.0 %	31.8 %

イ 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）

知識／活用

「知識」「活用」ともに全国と同程度であるが、昨年度との比較では「知識」「活用」ともに上昇した。

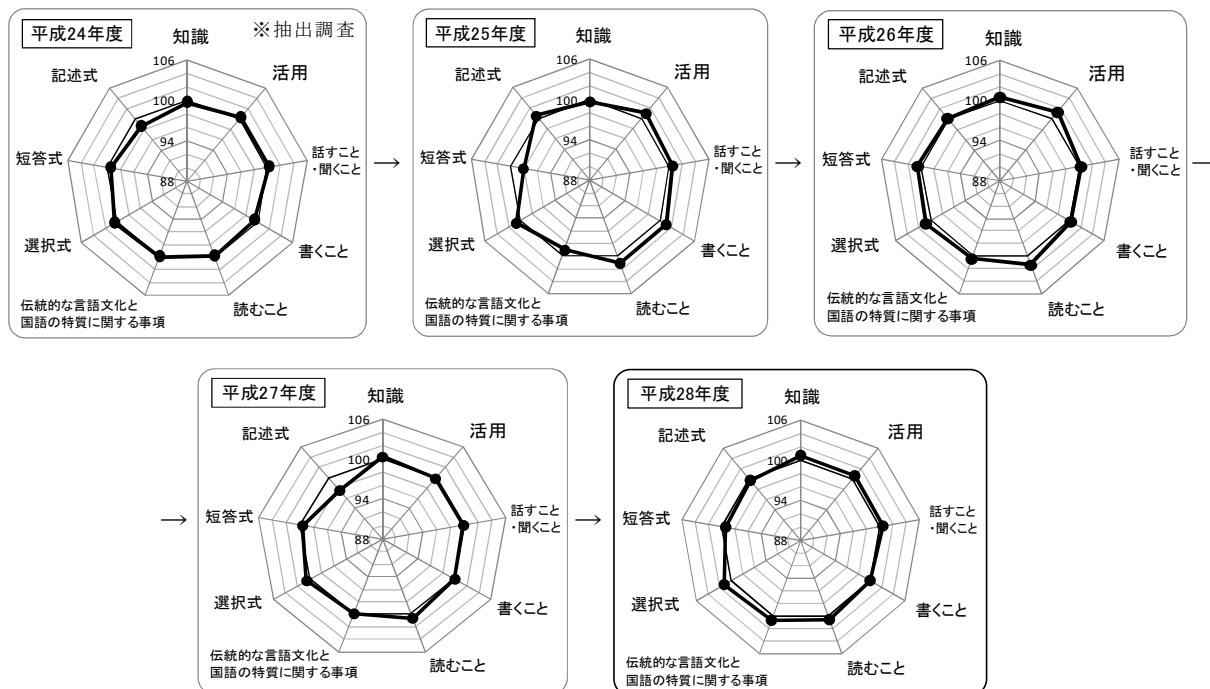
領域等

全ての領域等で全国と同程度である。

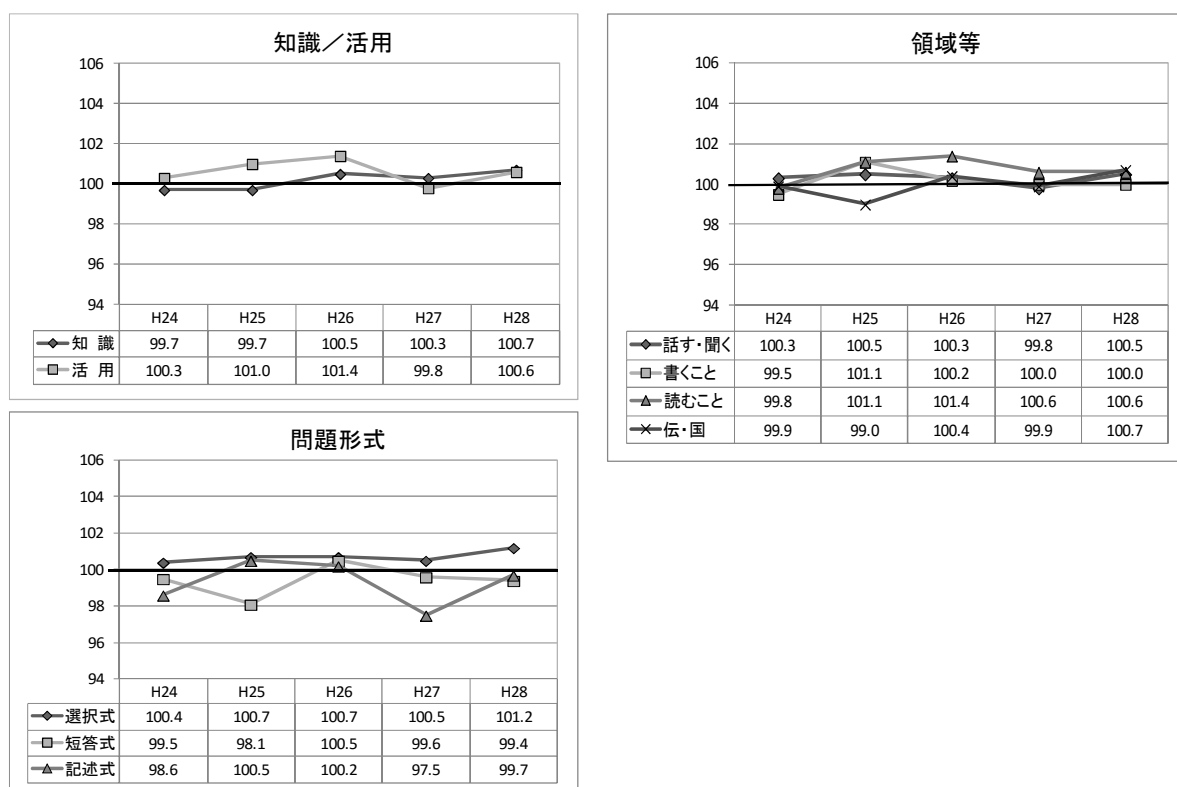
問題形式

昨年度課題として挙げられた「記述式」が、今年度は全国と同程度であり、改善が見られた。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

(凡例)

〔出題の趣旨〕

「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題

「同一」 過去の調査と同一の問題

〔領域等〕 学習指導要領の領域等

「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと

「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

〔評価の観点〕

「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力

「書」 書く能力 「読」 読む能力

「言」 言語についての知識・理解・技能

〔問題形式〕

「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式

〔肯定的回答〕

「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した

割合の合計

〔昨年との差〕

千葉県の上年度（平成28年度）と昨年度（平成27年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの

■ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差3.0ポイント以上

▼：全国との差3.0ポイント以下

ア 各設問の結果

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
A	1 一	聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	課題改善 聞き手の立場を想定し、話の中心的部分と付加的部分との関係に注意して話す	話	話	選	80.8	0.1		0.2	0.1	
			(H25小)				44.5	1.3		21.4	-0.5	
	1 二	絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	話	話	選	78.1	0.0		0.3	0.1	
	2 一	パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考に書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く	書	書	短	77.5	-0.6		4.0	0.5	
	2 二	文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する	書	書	選	74.1	0.9		0.2	-0.1	
	3 一	「ライスカレーの名に値する」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	読	読	選	85.8	1.1		0.2	0.0	
	3 二	「私」にととのライスカレーを説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	読	読	選	90.6	0.6		0.2	0.0	
	4 一	答えの文章を直した意図として適切なものを選択する	課題改善 文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く	書	書	選	65.5	0.8		0.5	-0.1	
			(H25小)				23.8	0.4		10.9	0.6	
	4 二	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	書	書	短	77.9	-0.8		10.1	1.4	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
							千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	5一	電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く	相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す		話	話	短	93.0	-0.1		3.8	0.1
	5二	伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して話を構成する		話	話	選	89.3	0.6		0.3	0.0
	6一	「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える		読	読	選	81.2	-0.1		0.3	-0.1
	6二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ		読	読	選	67.6	0.3		0.6	0.0
	7一	相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する	話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する		話	話	選	71.2	0.6		0.4	-0.1
	7二	話合いを踏まえた発言として適切なものを選択する	互いの発言を検討して自分の考えを広げる		話	話	選	63.6	1.6		0.6	0.0
	8一	奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	奥付の特徴や役割を理解する		読	読	選	86.7	0.6		1.3	0.0
	8二	資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する	奥付を使って本についての情報を得る		読	読	選	61.5	-0.9		1.6	0.0
	9一1	漢字を書く（大学で歴史のケンキュウをする）	文脈に即して漢字を正しく書く		伝	言	短	81.7	-1.8		7.2	1.4
	9一2	漢字を書く（今までにないドクソウ的な考えだ）			伝	言	短	27.7	1.6		13.6	2.2
	9一3	漢字を書く（家の庭に花を立える）			伝	言	短	87.6	-2.3		7.0	1.8
	9二1	漢字を読む（封筒を開ける）	文脈に即して漢字を正しく読む		伝	言	短	97.5	-0.1		1.4	0.1
	9二2	漢字を読む（長年の努力が報われた）			伝	言	短	94.7	-0.1		2.2	0.2

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
A	9二3	漢字を読む（目上の人を敬う）	文脈に即して漢字を正しく読む		伝	言	短	81.6	-1.0	5.4	0.6	
	9三ア	適切な語句を選択する（彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた）			伝	言	選	92.6	1.6	0.6	0.0	
	9三イ	適切な語句を選択する（厳しい挑戦だということは、もちろん分かっています）			伝	言	選	97.8	-0.1	0.5	0.0	
	9三ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩にかけて育てる）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	同一	伝	言	選	60.4	1.1	1.1	0.0	
								(H24) 62.3	1.7	1.2	0.1	
	9三エ	適切な敬語を選択する（私がプリントを集めて、先生にお届けします）			伝	言	選	93.9	-0.4	0.7	0.1	
	9三オ	適切な語句を選択する（会長候補として、白羽の矢が立つ）			伝	言	選	56.3	2.3	0.8	0.0	
	9四ア	漢和辞典の「意味」の中から、「賛美」の「美」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える		伝	言	選	61.3	1.0	1.0	0.0	
	9四イ	漢和辞典の「意味」の中から、「優美」の「美」の意味として適切なものを選択する			伝	言	選	66.0	3.2	△	1.1	0.1
	9五	文章を書き直した意図として適切なものを選択する	文の成分の照応について理解する		伝	言	選	52.5	1.7	1.4	0.1	
	9六	題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する	文字の形や大きさ、配列に注意して書く		伝	言	選	40.4	4.0	△	1.3	0.1
	9七1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（追ひし）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む		伝	言	短	78.9	-1.3	5.0	0.6	
	9七2	「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する	歌に表れた作者の思いを想像する		伝	言	選	94.8	-0.1	1.8	0.1	

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
B	1 一	ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える		読	読	選	77.4	1.2	0.2	0.0	
	1 二	関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		読	読	選	83.6	0.3	0.2	0.0	
	1 三	ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く		書・読	関・書・読	記	68.2	0.2	8.3	0.5	
	2 一	雑誌の記事の説明として適切なものを選択する	文章の構成を捉える		読	読	選	65.5	0.6	0.2	0.0	
	2 二	情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する		読	読	選	64.3	0.3	0.2	-0.1	
	2 三	宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える	課題改善 (H25)	書・読	関・書・読	記	49.5	0.3	6.5	0.5	
								58.2	0.3	2.7	-0.1	
	3 一	物語の展開に沿って巳之助の様子を並べ替える	文章の展開に即して内容を理解する		読	読	短	72.3	1.2	1.2	0.0	
	3 二	物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		読	読	選	64.6	-0.1	0.7	-0.1	
	3 三	図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く	課題改善 (H26)	書・読	関・書・読	記	56.7	-1.0	24.9	2.1	
								45.4	-0.9	8.9	0.3	

イ 質問紙調査の結果

質問 番号	国語に関する質問事項	肯定的回答		
		千 葉 県	全国との差	昨年との差
57	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	38.2	1.2	1.2
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	37.0	0.0	1.0
59	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	64.2	-0.6	1.1
61	国語の勉強は好きですか	59.1	-0.7	-2.2
62	国語の勉強は大切だと思いますか	87.8	-1.3	-1.6
63	国語の授業の内容はよく分かりますか	71.5	-2.6	-1.7
64	読書は好きですか	74.5	4.6	1.6
65	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	83.0	-1.6	-0.4
66	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	60.5	-1.7	1.6
67	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	55.4	-1.3	1.8
68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	65.5	-1.2	-0.3
69	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	70.9	-0.4	-0.3
70	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した【肯定的回答】 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった	69.6	-2.1	-4.9
82	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	92.9	-0.4	-0.1
83	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	85.3	0.7	0.9

- A問題、B問題、また、各領域等ともに全国と同程度である。昨年度課題として挙げられた問題形式の「記述式」においては、今年度全国と同程度まで回復し、改善が見られた。しかし、「漢字を正しく書くこと、読むこと」については、今年度も改善が見られず、出題された6問中5問が全国を下回り、無解答率においてもすべて全国より高く、継続した課題である。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、特に「辞書を活用し、漢字の意味を捉える」（9四イ）、「文字の形や大きさ、配列に注意して書く」（9六）の設問が全国を大きく上回った。
- 質問紙では、読書は好き（64）の肯定的回答が、今年度も全国と比べやや高かった。しかし、国語の勉強は好き（61）、国語の授業の内容はよくわかる（63）の肯定的回答は全国よりやや低く、昨年度と比較しても減少している。国語の授業に関する質問事項もすべて全国より低い状況であり、授業の中に生徒が主体的に考える場面や考えたことを表現・交流する場面を設定し、言語活動の更なる充実を図る必要がある。

③ 成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 知識（Ａ問題）、活用（Ｂ問題）ともに、全国と同程度であり、昨年度と比べて上昇している。また、無解答率が全国より低い設問が増加している。 ◇ 昨年度全国を下回った「記述式」の正答率が、今年度は同程度であり、改善が見られる。 ◇ 読書が好きな生徒の割合が、全国より高い状況が続いており、「読むこと」領域の良い結果も継続している。
	課題	◆ 「漢字を正しく書くこと」が改善されず、継続した課題である。 ◆ 国語が好き、授業内容がよく分かる生徒が全国よりやや低く、昨年度と比較しても減少している。

話すこと 聞くこと	◇ 互いの発言を検討して自分の考えを広げることが、全国を上回っている【Ａ７二】。
書くこと	◇ 集めた材料を整理して文章を構成すること、文章を読み返し、文の使い方などに注意して書くことが、全国を上回っている。 ・ 文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する【Ａ２二】。 ・ 答えの文章を直した意図として適切なものを選択する【Ａ４一】。 ◆ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと、伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことが、全国を下回っている【Ａ２一】【Ａ４二】。
読むこと	◇ 文脈の中における語句の意味を理解することが、全国を上回っている【Ａ３一】。 ◇ 文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉えることが、全国を上回っている【Ｂ１一】。 ◇ 文章の展開に即して内容を理解することが、全国を上回っている【Ｂ３一】。 ◆ 奥付を使って本についての情報を得ることが、全国を下回っている【Ａ８二】。
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	◇ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことが、全国を上回っている【Ａ９三ア、ウ、オ】。 ◇ 辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉えることが、全国を大きく上回っている【Ａ９四イ】。 ◇ 文の成分の照応について理解することが、全国を上回っている【Ａ９五】。 ◇ 文字の形や大きさ、配列に注意して書くことが、全国を大きく上回っている【Ａ９六】。 ◆ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが、全国を下回っている（追ひし）【Ａ９七１】。
その他	◇ 「記述式」の設問では、文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くこと【Ｂ１三】、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること【Ｂ２三】は、全国を上回っている。 ◆ 国語の授業に関する質問事項においては、肯定的回答の割合が、ほぼ全国よりやや低い状況である。

④ 誤答分析 授業づくりシート 千葉県版【中学校国語】

本シートは、本県の【中学校国語】に見られる課題の改善を図る授業づくりのための資料として提示しています。各学校においては、これを参考にして、実態に合わせて**誤答分析ツール**を利用して「**誤答分析 授業づくりシート**」を作成し、指導改善を進めてください。

平成28年度全国学力・学習状況調査

誤答分析【国語A－授業づくりシート】②

H28

設問番号	設問の概要
国語A 4二	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く

出題の趣旨	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
学習指導要領における 領域・内容	〔第1学年〕 B 書くこと ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。 《記述》

<解答類型別反応率にみられる特徴とつまずきの分析>

「北極点と南極点では、どちらの平均気温が低いか？」という質問に対する答えが明確になるように、**文のつながりを考えて二十五字以上で書く。**

- 〔正答例〕
- ・つまり北極点より南極点の平均気温の方が低いのです。
 - ・だから平均気温が低いのは南極点の方です。
 - ・これらのことから、答えは南極点です。

- 〔誤答例〕
- ・だから南極は冷たいのです。

→ **答えが南極点であることを明確にして書くことができていない。**

- 〔課題〕 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。

<学習指導の改善方策>

伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くためには、根拠として示した事実が適切かどうかを確かめた上で、接続語の使用や段落構成の工夫などによって、読み手に対してどの部分が根拠であるかが分かるような表現上の工夫をする。その際、根拠に当たる部分をどのように明確に書いたかを確認するとともに、どのような表現が適切かを吟味する。

単元 「疑問を解決するために、文章から適切な情報を得て、わかりやすく答えを書いてみよう」

- ① 「マグロの刺身は、タイの刺身に比べて、色が赤いのはなぜか」という質問に対する回答を考える。

- ② 最初に考えた回答を互いに読み合い、アドバイスをする。

〔話し合う際の観点の例〕

- 質問に対する回答になっているか。
- 必要な情報が正しく書かれているか。
- 結論に対する根拠が明確に書かれているか。
- 説明の順序が適切でわかりやすいか。

- ③ アドバイスや自らの気づきを生かし、最初に考えた答えを推敲し、文章を完成させる。

〈いくつかの回答を読み比べ、説明の仕方やその適否について学級全体で考える学習も効果的である。〉

☆魚の事典や料理の本などを参考にすると、最終的な回答には、次のような回答例も考えられる

魚の色は筋肉に含まれるミオグロビンの量に左右されます。ミオグロビンは酸素を貯蔵するタンパク質で、これが多いと筋肉が赤くなります。広い海域を常に泳ぎ回るマグロなどの魚は、酸素を多く貯蔵する筋肉が発達するので、マグロの身は赤くなるのです。

関連する問題	
--------	--

国語

TYPE
Ⅱ

A[4]二

「要望する文章を書こう」

～自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く～

これまでの調査の結果から、伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことに課題が見られます。そこで、本アイデア例では、学校図書館に置いてほしい図書について要望する文章を書き、自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章になっているかどうかについて検討する学習を提案します。伝えたい事実や事柄を書く際に、読み手を意識し、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことについて理解を深めることを狙いとしています。

課題の見られた問題の概要と結果

A[4] 文章を推敲する

A[4]二 正答率 **79.1%** 質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く。

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕B 書くこと ウ

授業アイデア例

- 1 学校図書館に置いてほしい図書について、担当の教師に要望する文章を各自で書く。
- 2 書いた文章をグループで読み合い、自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章になっているかどうかを検討する。

〔要望する文章の例〕

要望を四角で囲み、その根拠となる部分に下線を引いて検討しましょう。

先日、人工知能のニュースを見てもっと詳しく知りたいと思い、学校図書館に行きました。しかし、詳しく取り上げている本がなく、学校図書館に科学雑誌があったらいいなと思いました。月刊の雑誌には新しい話題が取り上げられているし、科学雑誌を置いてほしいと思っている人は多いです。科学雑誌がそろっていると、理科や技術・家庭科の学習などで疑問に思ったことを調べる際にも役立ちます。



教師

何を要望しているのか、分かりにくいのではないかな。

「科学雑誌を置いてほしいと思っている人は多い」とあるけれど、「多い」というのは本当なのかな。



理科や技術・家庭科の学習などでも役に立つことが書かれているのはよいと思うよ。

- 3 必要に応じて、具体的にどのように修正すればよいかをグループで交流する。

まず、要望をはっきり述べるとよいのではないかな。

生徒のアンケート結果を示すと分かりやすくなるのではないかな。



自分だけではなく、皆のためにもなることを根拠として示すと、担当の先生に納得していただけると思うよ。

- 4 自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章を書くための観点について、各グループで意見をまとめて発表する。

皆さんの意見をまとめると、次のような観点到留意するとよさそうですね。

- ・自分の考えや気持ちとその根拠が読み手に分かりやすく書かれているか。
- ・根拠は自分の考えや気持ちを支えるものになっているか。
- ・読み手を意識した内容が示されているか。



教師

- 5 各自で文章を見直し、完成させる。

〔書き直した文章の例〕

学校図書館に月刊の科学雑誌を置くことを希望します。
学級でアンケートをとったところ、約70%の生徒が科学雑誌を置いてほしいと回答しています。月刊の雑誌には新しい話題が取り上げられているので、本の内容に興味をもつ生徒も多いはず。また、科学雑誌がそろっていると、理科や技術・家庭科の学習などで疑問に思ったことを調べる際にも役立ちます。

本授業アイデア例 ● 活用のポイント！

- 書いた文章について検討する際には、これまでに学習した推敲の観点を踏まえるように指導することが大切である。また、生徒の実態に応じて、④で例示しているような観点を事前に示すことも考えられる。
- 事実を基に考察したことを伝える文章など、他教科等の学習で書いた文章を用いて検討する学習活動も考えられる。

参照▶「平成28年度 報告書 中学校 国語」P.35～P.38、「平成28年度 解説資料 中学校 国語」P.24～P.28

(国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」より)